まちの話題

Machi no Wadai

市内で行われたイベントや行事、まちの話題を写真と一緒に紹介します。
また、みよし市ホームページでは「Topics（まちの話題）」と「市政番組『みよしTODAY』動画配信」でイベントや行事の様子を紹介しています。URL http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/

スポーツの祭典

体育協会総合体育大会

スポーツの推進と市民の皆さんの体力増進を図ろうと11月9日、第25回みよし市体育協会総合体育大会の総合開会式が総合体育館で行われました。式では、体育協会の清田由雅（せいたよしまさ）会長が「けがに注意しながら練習の成果を発揮し、盛大に大会が開催されることをご祈願します」とあいさつ。続いて、体育協会の発展に功績のある人と各大会で優秀な成績を収めた選手やチームがそれぞれ表彰され、参加者から大きな拍手が送られました。式の後には7種目の競技が行われ、それぞれの競技で勝利を目指して全力プレーを展開。選手たちは日ごろの練習成果を十分に発揮し、チームメイトや観客からは選手たちに盛んに声援が送られていました。

いざという時に役立つ調理法

パッククッキング体験

災害時に役立つパッククッキングを多くの市民に知ってもらおうと11月14日、パッククッキング体験が保健センターで行われました。パッククッキングは、ポリ袋に食材を入れてお湯で火を通す調理法で、電気やガスなどのライフラインが使えなくてもカセットコンロと鍋、水、ポリ袋があれば簡単に食事を作ることができます。この日参加した9人は、ご飯や焼きそば、ツナと白菜のスープ煮、煮込みハンバーグ、蒸しパン作りに挑戦。参加者は食生活改善推進協議会の皆さんの指導のもと、切った食材をポリ袋に入れてよく混ぜてから袋内の空気を抜いてお湯の中に入れていきました。お湯の中でおよそ40分間熱を通したら出来上がり。出来上がった後は早速、みんなでおいしく試食しました。

健康的な体を維持するために

市民病院「健康講座」

市民の健康意識を高めるとともに、健全な生活習慣を身に付けてもらおうと11月15日、みよし市民病院「健康講座」がサンアートで行われました。「耳のおはなし」と題したこの講座に、およそ400人が参加。初めに、市民病院耳鼻咽喉科部長の松本珠美（まつもとたまみ）さんが、耳の構造や各器官の働き、音の聞こえる仕組みなどを分かりやすく紹介しました。続いて、市民病院リハビリテーション課技師長の山本正都（やまもとまさと）さんが、体の筋力、バランス、二重課題能力の3つの機能を向上して生活の質を高める「サンQ（キュー）体操」をユーモアある語り口調で紹介。参加者は山本さんの説明を聞きながら体を動かして、一生懸命に取り組みました。最後には、名古屋市立大学耳鼻咽喉科助教の高橋真理子（たかはしまりこ）さんが耳の病気と治療、老化に伴う難聴のメカニズムを紹介すると、参加者は熱心に聞き入り、時折メモを取りながら聞こえについての知識を深めるとともに、健康への意識を高めていました。

夢の詰まった作品の数々

小中学生夢の作品展

「創り出そう 未来へひろがる みんなの夢」をテーマに11月15日と16日の2日間、小中学生夢の作品展がサンアートで行われました。市内8小学校と4中学校、友好都市提携を結んでいるアメリカ合衆国インディアナ州コロンバス市の児童たちが制作した作品6,610点を一目見ようと、2日間でおよそ8,000人が来場。会場には、おとぎ話を紙工作で表現した「飛び出せ !! 絵本の国」や漢字のイメージを絵に表現した「感じる漢字」、各小中学生が描いた夢の作品展ポスターの入選作品など、子どもならではの発想と夢にあふれた力作の数々が所狭しと並べられ、来場者は熱心に鑑賞していました。

はっきりとした言葉を話すコツは

美しい日本語の話し方教室（北部小学校）

聞き取りやすい日本語の話し方を学んでもらおうと11月17日、美しい日本語の話し方教室が北部小学校で行われました。この日は、劇団四季の俳優、菊池華奈子（きくちかなこ）さん、林晃平（はやしこうへい）さん、髙橋（たかはし）えみさんを講師に招き、6年生児童87人が参加。 教室では、講師の皆さんが劇団四季の50年を超える歴史の中で培われてきた独自の「母音法（ぼいんほう）」を通して、日本語における母音の大切さやそれぞれの音を分離して話すこと、同じ母音が続く場合は後の母音の響きを変えるなど、美しい日本語を話すためのコツを分かりやすく説明しました。最後は、教わったことを復習しながら「友達はいいもんだ」をみんなで合唱し、相手に思いを伝えることを意識して、はっきりとした言葉で歌う練習をしました。

着用率100%を目指して

県内一斉シートベルト･チャイルドシート関所

「カチッと100!」を合言葉に、全ての座席でシートベルト･チャイルドシートの着用率100%を目指して11月20日、県内一斉シートベルト･チャイルドシート関所がアイモール･イオン三好店で行われました。これは、シートベルトとチャイルドシートの交通安全上の有効性が実証されている中でも着用率が低いことから、着用の徹底を呼び掛けようとするもの。当日は、交通委員9人と市職員3人が、反射材のついた静電気除去キーホルダーを手渡しながら、一人一人に「シートベルト、チャイルドシートの着用をお願いします」と呼び掛けました。

見事な点前（てまえ）でおもてなし

愛知県民茶会

茶道文化の普及を図るとともに、県民文化の向上を推進しようと11月23日、愛知県文化協会連合会主催による愛知県民茶会がサンアートで行われました。晴天に恵まれたこの日は、普段から茶道に親しんでいる人や家族や友達に誘われて参加した人など、子どもから大人まで幅広い年代およそ4,000人が来場。会場には10市町から13の茶席が設けられ、どの茶席も行列ができるほどの大盛況。茶会では、流れるような美しい点前でおもてなしを受けると、来場者は抹茶と菓子をいただいたり、茶道具や飾られたびょうぶなどについて会話を弾ませたりと、思い思いに楽しんでいました。